

AC常時給電時のバッテリー劣化を防ぐ独自のバッテリー保護モード搭載 業務用Androidタブレット「TA2C-CS8」を2024年3月発売

～お客様の運用に合わせたOSカスタマイズにも対応～

業務用情報端末メーカーのオーディーエス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：砂長 潔）は、業務用途に必要な機能を凝縮した10.1型Androidタブレット「TA2C-CS8」を2024年3月に発売します。

10.1型 Androidタブレット TA2C-CS8



JANコード：4580327282472

商品ページ：<https://biz.ods.co.jp/product.php?id=597>

本件ニュースリリースページ（本発表での使用画像データを含む）：<https://ods.co.jp/news20240117.html>

本機は、業務用途に特化したスタンダードタブレットとして2019年より長らくご愛顧いただいた「TA2C-M8」の後継機種で、OSにAndroid 13を搭載し、動作パフォーマンスをTA2C-M8と比較して約70%向上*させたハイパフォーマンスモデルです。

飲食店のオーダー端末や簡易POSシステム、サインージ利用などで多いAC常時給電使用時のバッテリー劣化を防ぐ、独自のバッテリー保護モードを搭載しています。

他にも、お客様の意見を反映し、カスタマイズの要望が多い機能をプリセットしています。プリセット以外のOSカスタマイズについても、お客様の運用に合わせて有償にて対応します。

また、お客様の使用環境に合わせた設定やアプリのインストールなどをおこなうキitting作業、各店舗や拠点への配送などにも対応し、お客様の負担を軽減します。

なお、発売に先駆け、導入前の検証をご希望の企業様には検証用貸出機を無償でご用意。導入前相談についても承ります。（検証機の貸出期間は最長2週間）

* 当社調べ。パフォーマンス測定ソフトAntutu（Ver8.3.2）によるTA2C-M8との比較数値。

【想定される用途例】

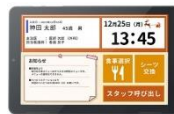
●飲食店



●ホテル



●ベッドサイド端末



●自治体



●教育



●サインージ用途



本件に関するお問い合わせ先

■報道機関の方
















オーディーエス株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

Tel: 03-6804-6415 (平日10:00~17:00) Web: <https://ods.co.jp>

営業企画部：原田・福澤 (Mail: ods_marketing@ods.co.jp)

総合お問合せフォーム: <https://biz.ods.co.jp/contact.php>

■TA2C-CS8 主な特長

 <p>Android 13</p>	<p>Android 13(64bit)OS搭載 メインバージョン固定運用</p>	 <p>WUXGA (1920×1200)</p>	<p>フルHD以上の16:10 WUXGA(1920×1200) ディスプレイ採用</p>	 <p>USB Type-A</p>	<p>USB Type-A端子を2系統 搭載</p>
 <p>ac/a/b/g/n 2×2 MIMO</p>	<p>安定度と速度が向上した Wi-Fi(ac/a/b/g/n) 2×2MIMO対応</p>	 <p>スピーカー (前面、1W×2)</p>	<p>大音量再生が可能な 内蔵スピーカー (1W×2、前面配置)</p>	 <p>micro HDMI Miracast</p>	<p>映像出力対応 ・microHDMI ・MiraCast対応</p>
 <p>アルコール拭取消毒OK</p>	<p>飲食店などの衛生面に考慮し、アルコール拭取り消毒可能</p>	 <p>ログ取得モード</p>	<p>不具合発生時のサポート時間を短縮させるログ取得モード搭載</p>	 <p>タッチ感度調整可能</p>	<p>タッチ感度調整可能 (手袋や軍手を着用して使用する場合は高感度モードに切り替え)</p>
 <p>800サイクルバッテリー</p>	<p>800サイクルバッテリー フル充放電800サイクル経過時でも初期性能の80%以上の駆動時間を維持</p>	 <p>前面5M AFカメラ</p>	<p>Web会議や顔認証にも最適な前面500万画素オートフォーカスカメラ搭載</p>	 <p>充電専用DC端子</p>	<p>充電端子の接続安定度を向上させる充電専用DC端子を採用</p>
 <p>大容量ACアダプター</p>	<p>付属の大容量ACアダプターにより充電時間を短縮</p>	 <p>セキュリティワイヤー (ケンジントンロック)対応</p>	<p>盗難防止用セキュリティワイヤー (ケンジントンロック) 対応</p>	 <p>国内サポート</p>	<p>お客様の負担を減らす各種キitting作業やイメージ作成を国内でサポート</p>

【プリセットカスタムOS】 ※その他、各種OSカスタマイズも有償にて対応可能

・タイマースケジュール機能

再起動、電源OFF、LCDオン/オフ、などを日時指定して実行することが可能



・キオスクモード (システムバー非表示)

システムバーを非表示にし、全画面表示することが可能。



・電源ON/OFF連動機能

AC給電に連動して製品の電源をON/OFFすることが可能



・バッテリー保護モード (AC常時給電モード)

過充電と充放電サイクルを軽減し、バッテリーを延命する当社独自技術。フル充電リミッター機能により、満充電による負荷を軽減します。



【オプション品】

- ・抗菌画面保護フィルム
- ・マグネット着脱でワンタッチ給電が可能な高耐久Magconn充電システム



●保護フィルム



●Magconn充電システム使用イメージ (前面)



●Magconn充電システム使用イメージ (背面)

■国内企画・国内サポート／安心と信頼をお届けする国内メーカー「オーディーエス」

ODS

安心と信頼を
お届けする

日本品質

オーディーエスのタブレット端末は

国内企画・国内サポート



□少数精鋭の企画拠点：本社 神田オフィス

オーディーエスのタブレットは、本社である神田オフィスにて、オーディオ・パソコンメーカーでの豊富な経験とノウハウを持った少数精鋭の企画部隊が、日本市場に合った製品を企画しています。

□確かな技術と豊富なノウハウのサポート拠点：鳥取事業所

鳥取県倉吉市にある鳥取事業所では、豊富なメーカーサポートの経験とノウハウを活かした確かなサポートサービス体制で対応します。

お客様の負担を軽減するため、お客様の環境に合わせた設定やアプリのインストールなどをおこなうキitting作業、各店舗や拠点への配送などにも対応しています。

- 掲載写真はすべてイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。
- 表示画面はすべて架空のもので、はめ込み合成です。
- 記載されている内容、仕様、外観等は予告なしに変更することがあります。最新情報および詳細情報はWeb上にてご確認ください。

[商標について]

ODSロゴはオーディーエス株式会社の商標です。Androidは、Google LLCの商標です。Android ロボットは、Google が作成および提供している作品から複製または変更したものであり、クリエイティブ・コモンズ表示 3.0 ライセンスに記載された条件に従って使用しています。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。MiracastはWi-Fi Allianceの登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。本書では®マーク、TMマークを省略し、各社の許諾のもと試用しています。

オーディーエス株式会社

本社所在地 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5 東京神田須田町ビル8階
鳥取事業所 〒682-0925 鳥取県倉吉市秋喜243番地
資本金 1億円（2022年9月時点）
設立年月日 2022年9月1日
代表者 代表取締役社長 砂長 潔
事業領域 ソリューション事業（業務用・施設用途向けハードウェア事業）
コミュニケーションサービス事業（企業様向けアウトソーシング事業）

企業WEB

<https://ods.co.jp>

当社は、業務用タブレットPCメーカーの「ODS株式会社」とPC製品・AV製品の修理全般、コールセンターを核にしたサポートを行う「ODSコミュニケーションサービス株式会社」の2つの会社の事業を吸収し、2022年に新生「オーディーエス株式会社」として誕生いたしました。それぞれ国内のメジャーなPCメーカーと音響機器メーカーが前身であり、長らく蓄積してきた、もの作りのノウハウと徹底した顧客志向が財産であると捉えています。各企業様との出会いとお付き合いを最重要視しており、お取引先様の「業務の効率化」や「お客様満足度の向上」への貢献を通じて、「企業価値向上」や「ブランドイメージの向上」、「次の時代を見据えた新たなValue」を提供してまいります。